



学びのアップデート  
Learning Updates

- 児童・生徒による情報発信の場面を設定
- 文字入力技能を向上させよう
- オンライン掲示板アプリを活用して国際交流を促進しましょう
- 区市町村別の一人1台の学習者用端末のOS・統合型学習支援サービスの利用状況

## 児童・生徒による情報発信の場を設定

- これからの社会を生きる子供たちにとって、**情報発信をする力**は必要不可欠なものです。子供たちの発達段階にあわせて、情報発信をさせる場面を工夫している事例を紹介します。

### 校内で情報発信（中野区立中野第一小学校）

Google Classroomにおいて委員会などからの情報発信や、それに対する他の児童からのコメントなどを、**児童自身が自発的**に行っています。

#### 行事を運営する委員会の投稿の様子

- A 児「運動会のスローガンは代表委員だけでなく、みんなで決められたらいいと思うんだけど 🐶 🐶」
- B 児「Aさん、代表委員に話してみました 😊 また検討しましょう！」
- C 児「クラスで一つスローガンを決め、いいのを選んだり、組み合わせたりしてみたらどうでしょう 🌈」

※このようなやり取りを経て、今年のスローガンを決めました。

- ・子供たちが楽しく交流できる**ネット上のコミュニティを整備**しています。
- ・子供たちはこのコミュニティにおける体験をとおして、適切な**情報発信力**を身に付けていきます。

### 限定公開による情報発信（日野市立日野第一中学校）

職場体験で学んだことを、インターネットで見られるようにGoogleサイトでまとめ、訪問事業者と保護者だけに公開しました。

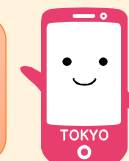


生徒が作成した職場体験ページ

#### 保護者の感想

生徒が作ったサイトを拝見しました。どの体験活動も興味深いものでした。子供たちの成長がますます楽しみになりました！

公開範囲を意識し、**相手に伝わるよう表現を工夫**して、情報発信を行うことができました。



**これらの事例を参考にして、これからの社会を生きる子供たちの情報発信力を高めましょう。**

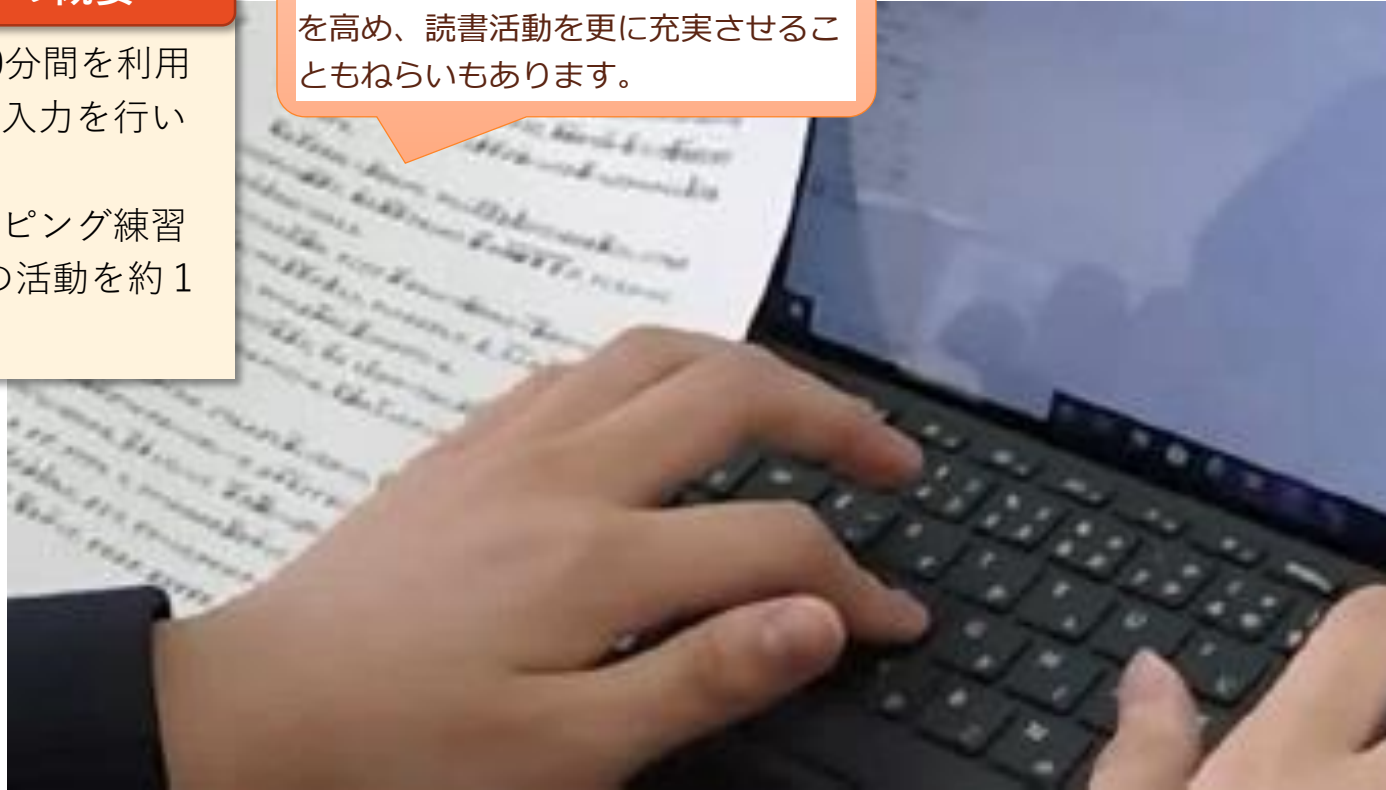
将来の子供たちに特定の専門分野に関係なく、全ての人に求められる能力である「**ジェネリックスキル**」が求められています。そこで中学校で「朝タイピング」の実践事例を紹介します。

## 「朝タイピング」の概要

朝読書を行っている10分間を利用して、全校生徒が、文字入力を行いました。

有名図書の一部をタイピング練習に使用し、毎朝10分間の活動を約1か月間継続しました。

有名図書に触れることは、**読書の意欲**を高め、読書活動を更に充実させることもねらいもあります。



## 活動の実際

### ●タイピングの目標設定

1週間を通して**2500文字程度**の文章を入力した。これを終わらせるためには、毎日500文字程度を入力する必要がある。10分の朝学習の中で、「**500文字入力する**」という**目標**をもたせた。

### ●正確なタイピングを意識

打ち間違いや変換ミスがないか、最後にもう一度見直す。

## 実施後

文字入力速度の変容（1分間）  
【1年生】約28字→約32字  
【3年生】約37字→約43字

タイピングが**速くなること**、**文章を正しく打つこと**など、**情報活用能力の育成**は大切です。タイピングを練習する時間を工夫して設定してみましょう！





# オンライン掲示板アプリを活用して国際交流を促進しましょう

都立福生高等学校では、3年選択科目「英語会話」の授業で、オンラインでの国際交流を行っています。生徒が、Padlet（パドレット）を活用して自己紹介し、国際交流がより充実した事例を紹介します。

## アプリを使って相互理解



Padletの投稿ページの様子

Padlet（パドレット）は、画像や動画、コメントなどを投稿することができる、Webブラウザで使えるオンライン掲示板アプリです。

生徒が、自己紹介の動画を投稿しています。いつでも閲覧できるのがよいですね。



## Zoomでの交流も行っています。



Zoomでの交流の様子

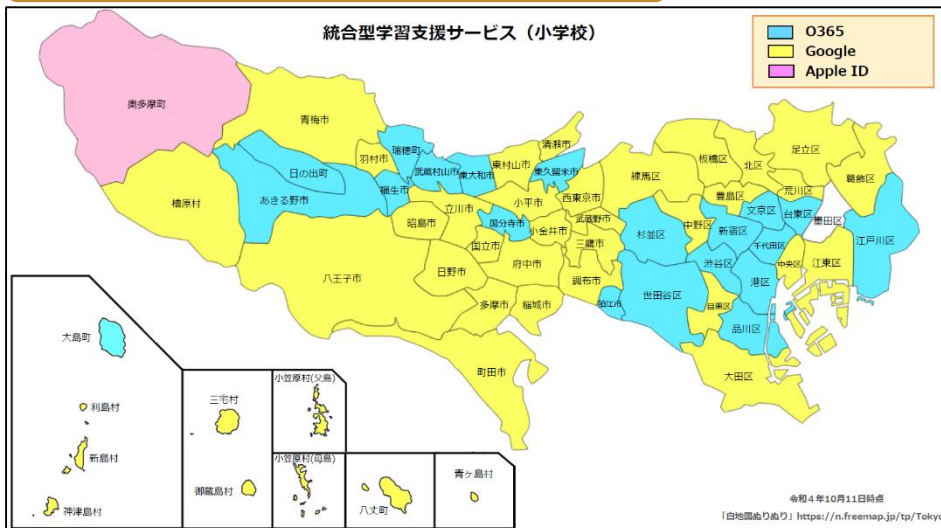
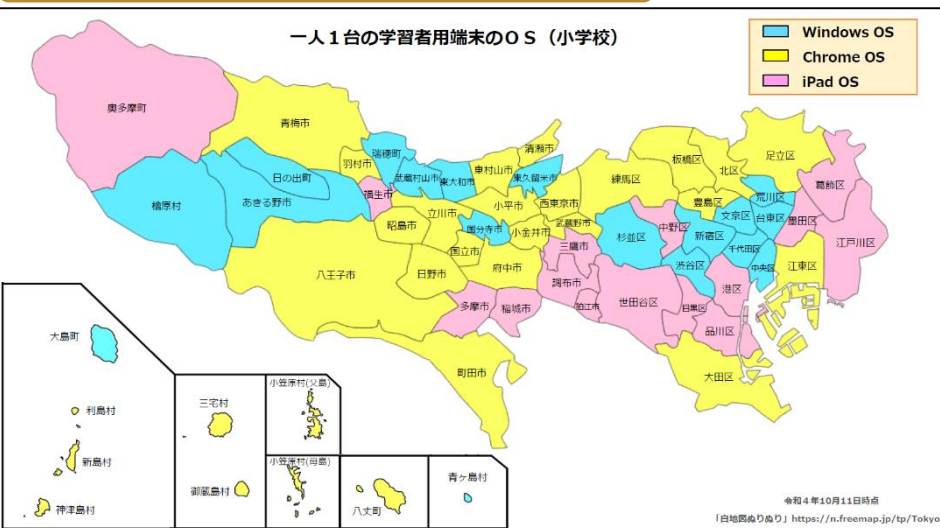
オンライン掲示板アプリを活用して新年の挨拶の動画をアップロードし合うなど、**相互理解を深める**ことができました。**リアルタイムの交流**と**オンライン掲示板を使った交流**を組み合わせることで、より充実した取組ができました。

# 区市町村別の一人1台の学習者用端末のOS・統合型学習支援サービスの利用状況

東京都内の区市町村が設置する小・中学校、特別支援学校の「一人1台の学習者用端末のOS」「統合型学習支援サービス」(令和4年10月11日時点)の利用状況です。区市町村で導入されているデジタル端末を、地図化してまとめました。

## 一人1台の学習者用端末のOS

## 統合型学習支援サービス



詳しくは「とうきょうの情報教育」サイトにアクセスしてみてください。

### 小学校

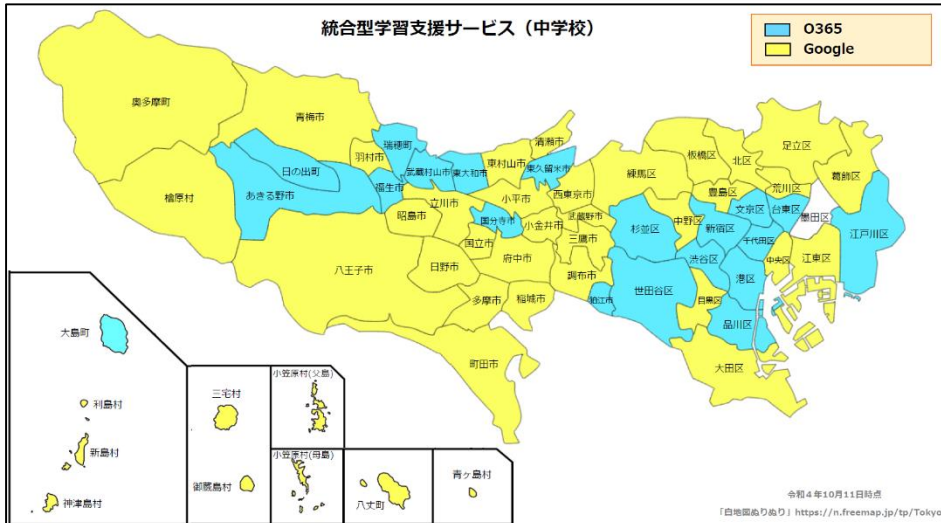
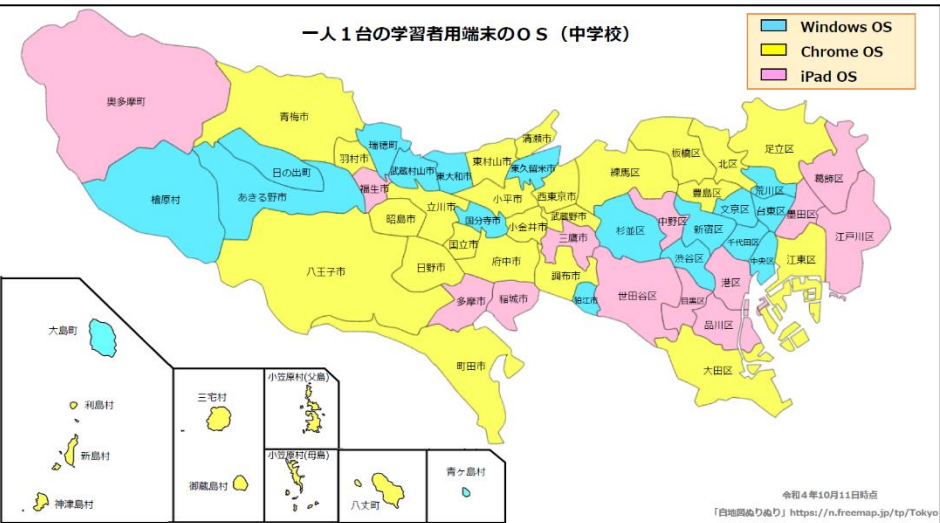
<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/html/000175.html>

### 中学校

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/html/000176.html>

### 特別支援学校

<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/html/000177.html>



学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

#### 学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信  
第15号 令和5年3月1日発行 東京都教育庁総務部教育政策課